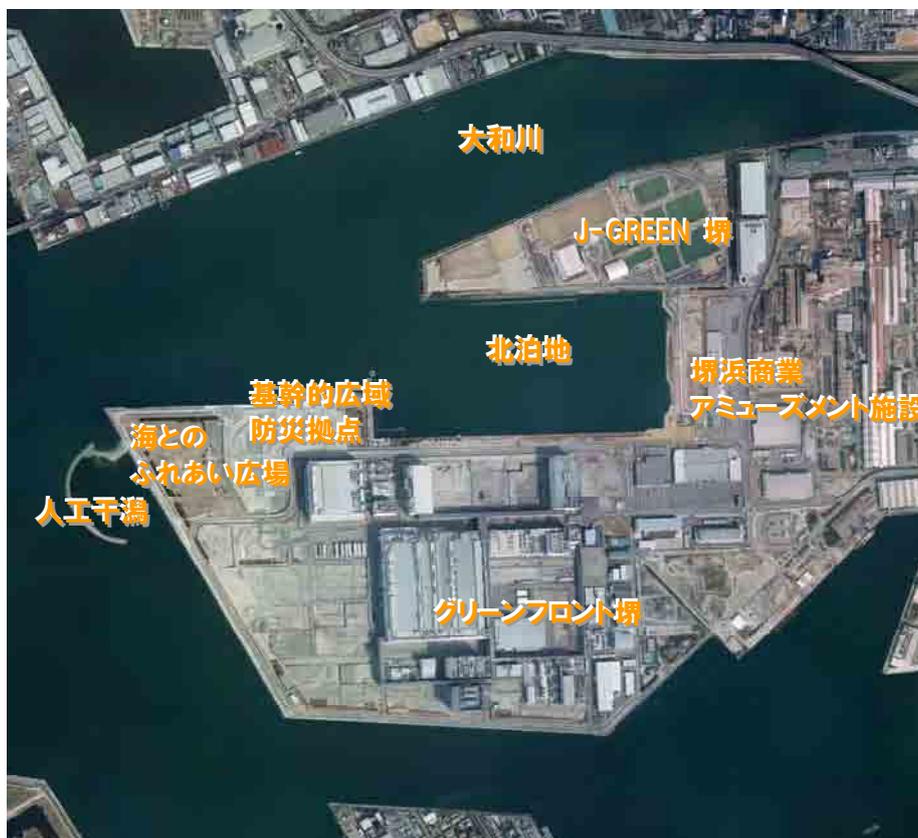


## 4.2 堺浜における活性化方策

### 4.2.1 堺浜の現状

堺浜は以下のような交通条件、立地条件、地理的条件を有しています。



※航空写真は大阪府より提供

図 堺浜概観

#### <交通条件>

- ・ 阪神高速道路湾岸線、建設中の大和川線三宝ランプに近接し、大阪、神戸、奈良へ高いアクセス性を有しています。

#### <立地条件>

- ・ 東京のお台場海浜公園に匹敵する広大な泊地を有しています。
- ・ グリーンフロント堺、J-GREEN 堺などインパクトのある環境・スポーツ施設等の新たな立地が進んでいます。
- ・ 泊地は環境再生・創造の研究・実験フィールドとして活用されています。
- ・ 人工干潟、砂浜、浅場、基幹的広域防災拠点として臨海部の広大な緑地などの整備が進行中です。

#### <地理的条件>

- ・ 泊地であり静穏な海域を有し、生物多様性を有する大和川の河口汽水域に近接しています。
- ・ 北泊地周辺に開発可能な民有地を有しています。

## 4.2.2 活性化コンセプト等

### (1) 活性化コンセプト

堺浜は、周辺の水域に干潟・浅場などを有するとともに、生物多様性に富んだ大和川汽水域に近接しており、環境再生・創造の研究・実験フィールドとして活用されています。また、スポーツ施設の立地が進んでおり、今後開発可能な市有地を有しています。さらに高速道路 IC（整備中）に近接しており、広域アクセス性を実現することができます。

以上より、「環境」、「親水」に着目した

### **「環境創造のシンボル・魅力あるウォーターフロントの形成」**

を堺浜の活性化コンセプトとし、「エコ・ヘルス・スポーツ・アグロ・テクノツーリズム」を戦略プログラムとして施策を展開することとします。

### (2) 取組み内容

海辺の自然環境を再生・創造することで、かつての堺の海の賑わいを再興し、スポーツ・レジャー、観光、産業が一体となった海辺のレクリエーション拠点の形成（ヘルス・スポーツ）をめざします。

生物多様性を有する大和川の汽水域という地理的特性を活かし、海や生物と楽しみ、憩える親水空間を形成（エコ・アグロ）することで、大都市生活で失われつつある癒し空間の創出、大阪湾再生やクールシティ・堺のシンボルとなる自然環境創造の研究拠点（テクノ）の形成をめざします。

### (3) 主な対象者

- ・市民や近隣府県など広域からの来訪者

### 4.2.3 利活用ゾーニング

堺浜の活性化コンセプトである「環境創造のシンボル・魅力あるウォーターフロントの形成」を実現するため、利活用ゾーニングを以下のとおりとします。

堺浜の先端緑地は、J-GREEN 堺を核に多目的な交流広場としての活用を図る必要があるため、「**スポーツ・レクリエーションゾーン**」と位置づけます。堺浜前面の水域については、生物配慮護岸等の整備により水質改善を図る必要があることから、「**自然環境創造ゾーン**」と位置づけます。先端緑地側の水域は人工干潟・浅場など大阪湾の自然再生・創造を図るため、「**親水ゾーン**」と位置づけます。堺浜えんため館周辺は、既存の商業施設を核として、周辺の立地特性を活かした賑わう場を提供するため、「**交流ゾーン**」と位置づけます。

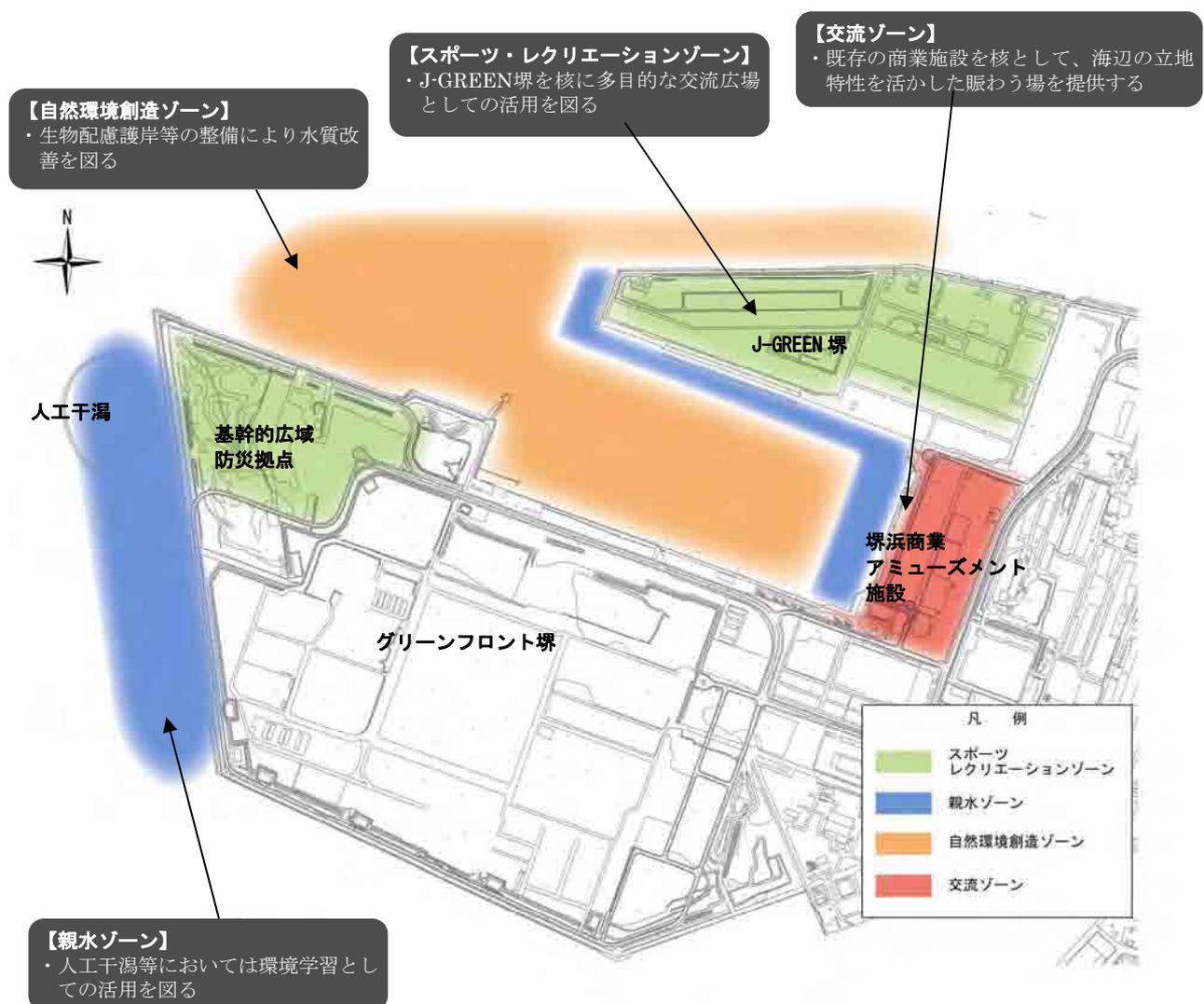


図 堺浜の利活用ゾーニング